



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4547 URL <http://www.kissei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神澤 陸雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 佐藤 公衛

TEL 0263-25-9081

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	46,509	△4.2	7,133	10.5	7,975	13.5	4,369	10.4
24年3月期第3四半期	48,567	2.4	6,455	16.9	7,028	17.1	3,956	21.6

(注)包括利益 25年3月期第3四半期 5,963百万円 (101.5%) 24年3月期第3四半期 2,959百万円 (128.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	84.88	—
24年3月期第3四半期	75.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	147,869	127,444	86.0	2,471.58
24年3月期	144,385	123,385	85.3	2,393.17

(参考)自己資本 25年3月期第3四半期 127,217百万円 24年3月期 123,183百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
25年3月期	—	19.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,500	△3.3	6,900	△7.6	7,700	△7.5	4,200	△11.9	81.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	56,911,185 株	24年3月期	56,911,185 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	5,438,917 株	24年3月期	5,438,203 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	51,472,570 株	24年3月期3Q	52,465,063 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9
4. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
5. 補足説明資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における医薬品業界は、後発品使用促進策等の医療費抑制策の進展に加え、昨年4月に実施されました薬価改定におきまして、新薬創出・適応外薬解消等促進加算の試行的導入が継続される一方で、長期収載医薬品の追加引下げが実施されるなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、円高が落ち着きを見せ始めてきておりますものの、米国や欧州をはじめとする世界的な景気減速などによる景気悪化への懸念、企業におけるIT投資及び設備投資への慎重な姿勢や個人消費の低迷など、内需の停滞を背景に厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	増減率 (%)
売上高 (百万円)	48,567	46,509	△4.2
営業利益 (百万円)	6,455	7,133	10.5
経常利益 (百万円)	7,028	7,975	13.5
四半期純利益 (百万円)	3,956	4,369	10.4

医薬品事業の売上高は、413億5千5百万円（前年同期比2.4%減）となりました。腎性貧血治療薬「エポエチンアルファBS注JCR」、糖尿病治療薬「グルベス®配合錠」をはじめとする新製品の育成に注力するとともに、既存の製商品につきましても積極的な医薬情報活動を推進いたしました。昨年4月に実施されました薬価基準引下げの影響や、ファイザー株式会社が製造し当社が販売しておりましたパーキンソン病治療薬「カバサル®錠」の昨年4月からの同社への販売移管などにより減収となりました。また、欧州における前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン（一般名、日本製品名「ユリーフ。」）の技術導出先でありますレコルダッチ社（イタリア）では、平成22年6月にドイツで発売して以降、当連結累計期間におきましても引き続き欧州各国において発売ならびに発売に向けた準備を進めておりますことなどから、輸出売上高は順調に増加しております。

その他の事業の売上高は、51億5千3百万円（前年同期比16.9%減）となりました。情報サービス業で増収となりましたものの、物品販売業、建設請負業におきまして減収となりました。

利益面では、減収による減益要因がありましたものの、医薬品事業、その他の事業の両事業における売上原価率の低下、販売費を主とした販売費及び一般管理費の減少などにより、営業利益、経常利益及び四半期純利益は増益となりました。

研究開発の状況につきましては、昨年12月に速効型インスリン分泌促進薬「グルファスト®錠」につきましてDPP-4阻害剤及びビッグアニド系薬剤との併用療法を効能追加する承認申請を行いましたほか、各テーマにつきましても研究開発を推進し、開発段階のステージアップを図っております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,478億6千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億8千4百万円増加しました。流動資産は繰延税金資産などが減少しましたが、現金及び預金、有価証券並びにたな卸資産が増加したことなどにより、33億5百万円増加し900億9千3百万円となりました。固定資産は減価償却による減少がありましたものの、時価評価により投資有価証券が増加したことなどにより、1億7千9百万円増加し577億7千5百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は204億2千5百万円となり、前連結会計期間末に比べ5億7千3百万円減少しました。流動負債は支払手形及び買掛金などが増加しましたが、未払法人税等や賞与引当金が減少したことなどにより、6億7千9百万円減少し139億8千2百万円となりました。固定負債は退職給付引当金の増加などにより1億5百万円増加し、64億4千3百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,274億4千4百万円となり、前連結会計期間末に比べ40億5千8百万円増加しました。主な要因は利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加したことによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の85.3%から86.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年11月6日発表の連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表等
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,234	20,010
受取手形及び売掛金	26,059	26,589
有価証券	26,600	27,328
商品及び製品	5,115	4,823
仕掛品	558	1,512
原材料及び貯蔵品	4,289	5,563
繰延税金資産	2,005	1,394
その他	2,927	2,872
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	86,788	90,093
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,649	36,752
減価償却累計額	△25,472	△26,058
建物及び構築物(純額)	11,177	10,693
土地	13,191	13,190
建設仮勘定	40	336
その他	14,266	14,631
減価償却累計額	△11,872	△12,383
その他(純額)	2,394	2,247
有形固定資産合計	26,804	26,468
無形固定資産	953	818
投資その他の資産		
投資有価証券	26,394	28,159
繰延税金資産	1,465	395
その他	2,033	1,983
貸倒引当金	△53	△49
投資その他の資産合計	29,838	30,488
固定資産合計	57,596	57,775
資産合計	144,385	147,869

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,499	5,272
短期借入金	2,101	2,001
未払法人税等	1,722	744
賞与引当金	2,015	1,018
その他の引当金	712	669
その他	3,609	4,275
流動負債合計	14,662	13,982
固定負債		
長期借入金	1,547	1,551
退職給付引当金	3,990	4,149
役員退職慰労引当金	130	116
資産除去債務	99	100
その他	569	525
固定負債合計	6,337	6,443
負債合計	20,999	20,425
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,254	24,254
利益剰余金	80,716	83,181
自己株式	△8,680	△8,681
株主資本合計	120,647	123,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,536	4,106
その他の包括利益累計額合計	2,536	4,106
少数株主持分	202	226
純資産合計	123,385	127,444
負債純資産合計	144,385	147,869

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	48,567	46,509
売上原価	16,774	14,929
売上総利益	31,793	31,580
返品調整引当金戻入額	68	17
返品調整引当金繰入額	18	15
差引売上総利益	31,843	31,581
販売費及び一般管理費	25,388	24,448
営業利益	6,455	7,133
営業外収益		
受取利息	46	43
受取配当金	577	577
その他	91	263
営業外収益合計	715	884
営業外費用		
支払利息	31	30
有価証券評価損	71	—
その他	39	12
営業外費用合計	142	42
経常利益	7,028	7,975
特別利益		
固定資産売却益	77	—
特別利益合計	77	—
特別損失		
投資有価証券評価損	120	792
減損損失	162	0
その他	42	11
特別損失合計	324	805
税金等調整前四半期純利益	6,781	7,170
法人税、住民税及び事業税	1,640	1,908
法人税等調整額	1,179	869
法人税等合計	2,819	2,777
少数株主損益調整前四半期純利益	3,962	4,392
少数株主利益	5	23
四半期純利益	3,956	4,369

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,962	4,392
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△1,003	1,570
その他の包括利益合計	△1,003	1,570
四半期包括利益	2,959	5,963
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,953	5,940
少数株主に係る四半期包括利益	5	23

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		その他（注） （百万円）	合計 （百万円）
	医薬品 （百万円）	計 （百万円）		
売上高				
外部顧客への売上高	42,366	42,366	6,201	48,567
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	3,236	3,236
計	42,366	42,366	9,437	51,804
セグメント利益	6,231	6,231	167	6,398

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	6,231
「その他」の区分の利益	167
セグメント間取引消去	43
固定資産の調整額	16
その他の調整額	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	6,455

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		その他（注） （百万円）	合計 （百万円）
	医薬品 （百万円）	計 （百万円）		
売上高				
外部顧客への売上高	41,355	41,355	5,153	46,509
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	2,977	2,977
計	41,355	41,355	8,131	49,487
セグメント利益	6,670	6,670	402	7,072

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	6,670
「その他」の区分の利益	402
セグメント間取引消去	41
固定資産の調整額	26
その他の調整額	△8
四半期連結損益計算書の営業利益	7,133

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

当連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品事業						
その他代謝用薬	6,033	12.4	7,406	15.9	1,373	22.8
神経系用薬	1,891	3.9	196	0.4	△1,695	△89.6
感覚器官用薬	1,793	3.7	1,640	3.5	△152	△8.5
循環器官用薬	6,771	13.9	5,678	12.2	△1,092	△16.1
消化器官用薬	2,256	4.6	2,310	5.0	53	2.4
ホルモン・泌尿生殖・ 血液体液用薬	13,434	27.7	13,532	29.1	98	0.7
アレルギー用薬	1,515	3.1	1,391	3.0	△124	△8.2
その他	8,670	17.9	9,199	19.8	528	6.1
報告セグメント計	42,366	87.2	41,355	88.9	△1,010	△2.4
その他の事業	6,201	12.8	5,153	11.1	△1,047	△16.9
合計	48,567	100.0	46,509	100.0	△2,058	△4.2
(うち輸出高)	(2,016)	(4.2)	(3,175)	(6.8)	(1,159)	(57.5)

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。

5. 補足説明資料

(1) 連結決算概要

(百万円)

項目	決算期	平成24年3月期		平成25年3月期			
		第3四半期 累計	通期	第3四半期 累計	前同比	通期予想	前期比
売上高		48,567	64,618	46,509	△ 4.2%	62,500	△ 3.3%
営業利益		6,455	7,465	7,133	10.5%	6,900	△ 7.6%
(売上高比%)		(13.3)	(11.6)	(15.3)		(11.0)	
経常利益		7,028	8,326	7,975	13.5%	7,700	△ 7.5%
(売上高比%)		(14.5)	(12.9)	(17.1)		(12.3)	
当期純利益		3,956	4,769	4,369	10.4%	4,200	△ 11.9%
(売上高比%)		(8.1)	(7.4)	(9.4)		(6.7)	
販売費及び一般管理費		25,388	34,305	24,448	△ 3.7%	34,000	△ 0.9%
(うち研究開発費)		(7,011)	(10,043)	(6,963)	(△ 0.7%)	(10,700)	(6.5%)
(売上高比%)		(14.4)	(15.5)	(15.0)		(17.1)	
輸出高		2,016	2,793	3,175	57.5%	3,930	40.7%

(2) 主要医薬品売上高

(百万円)

製品名	決算期	平成24年3月期		平成25年3月期			
		第3四半期 累計	通期	第3四半期 累計	前同比	通期予想	前期比
排尿障害改善薬 ユリーフ		8,551	11,156	8,939	4.5%	11,850	6.2%
糖尿病治療薬 グルファスト		3,431	4,299	2,746	△ 20.0%	3,490	△ 18.8%
糖尿病治療薬 グルベス		442	668	1,265	186.2%	1,820	172.5%
口腔乾燥症状改善薬 サラジェン		807	1,046	894	10.7%	1,160	10.9%
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注JCR		2,159	2,899	3,393	57.2%	4,480	54.5%
高脂血症治療薬 ベザトール		5,581	7,091	4,694	△ 15.9%	6,120	△ 13.7%
切迫流・早産治療薬 ウテメリン		3,389	4,338	3,174	△ 6.3%	4,010	△ 7.6%
脳循環改善薬 キサンボン		1,189	1,467	984	△ 17.3%	1,250	△ 14.8%
アレルギー性結膜炎治療薬 リザベン点眼液		1,186	2,086	1,078	△ 9.1%	1,760	△ 15.6%
アレルギー性疾患治療薬 リザベン		1,311	1,723	1,213	△ 7.5%	1,600	△ 7.1%
気管支喘息治療薬 ドメナン		203	257	177	△ 12.6%	230	△ 10.5%
血液凝固阻止剤 フラグミン		475	595	375	△ 21.0%	460	△ 22.7%
緑内障・高眼圧症治療薬 リズモンTG点眼液		514	648	440	△ 14.5%	550	△ 15.1%
子宮内膜症治療薬 ゾラデックス1.8mgデポ		523	693	532	1.7%	670	△ 3.3%
活性型ビタミンD ₃ 製剤 フルスタン		494	622	510	3.1%	640	2.9%

(3) 新薬開発状況(自社)

(平成25年2月現在)

開発段階	製品名／ 一般名／ 開発番号	開発区分	予想される適応症	主な作用等	備考
承認申請中	グルファスト®／ ミチグリニド	創製品	2型糖尿病(DPP-4阻害剤、ピグアナイド系薬剤との併用療法)	速効・短時間型インスリン分泌促進作用	効能追加
	デクスラゾキサン／ KDX-0811	導入品／スペファーム(オランダ)	アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤の血管外漏出	トポイソメラーゼⅡ阻害作用	
申請準備中	サラジェン®／ ピロカルピン	自社開発	頭頸部の放射線治療に伴う口腔乾燥症状の改善 シェーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善	唾液分泌促進作用	剤形追加 (顆粒剤)
第Ⅱ相	KPS-0373	導入品／塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)作用	
	PA21	導入品／ビフォーファーマ (スイス)	透析時高リン血症	リン吸着作用	
	オザグレレ／ KCT-0809	創製品／テイカ製薬共同開発	ドライアイ	角結膜上皮障害修復作用	
	KLH-2109	創製品	子宮内膜症、子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	
	ユリーフ®／ シロドシン	創製品	尿路結石症	α1A受容体拮抗作用	効能追加
	KWA-0711	創製品	慢性特発性便秘症	消化管における水吸収抑制作用	
第Ⅰ／Ⅱ相	YS110	導入品／ワイズ・エー・シー、 東京大学、科学技術振興機構	悪性中皮腫	抗CD26ヒト化モノクローナル抗体	治験実施地域： フランス
第Ⅰ相	KUX-1151	創製品	痛風、高尿酸血症	尿酸生成抑制・排泄促進作用	
	エポエチンアルファ BS注「JCR」／ JR-013sc	導入品／日本ケミカルリサーチ 共同開発	腎性貧血、自己血貯血	赤血球増加作用	バイオ後続品 高単位製剤

※前回公表時(平成24年11月)からの変更点: ①グルファスト(効能追加)…申請準備中→承認申請中、②デクスラゾキサン…申請準備中→承認申請中、
③サラジェン(剤形追加)…第Ⅰ／Ⅱ相→申請準備中、④エポエチンアルファBS注「JCR」(高単位製剤)…新規記載

(4) 新薬開発状況(導出)

(平成25年2月現在)

開発段階	一般名/ 開発番号	提携企業	権利地域	予想される適応症	主な作用等
承認申請中	ミチグリニド (mitiglinide)	エーザイ(日本)	アセアン ^{※1}	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
	シロドシン (silodosin)		アセアン、インド、スリランカ ^{※2}	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α 1A受容体拮抗作用
申請準備中	ミチグリニド (mitiglinide)	USV(インド)	インド	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
第Ⅱ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	喘息の急性発作、切迫早産	β 2受容体刺激作用
第Ⅰ相	KGA-3235	グラクソ・スミスクライン(イギリス)	日本、韓国、中国、台湾を除く全世界	2型糖尿病	小腸における糖吸収抑制作用
	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	COPD	β 2受容体刺激作用

※前回公表時(平成24年11月)からの変更点: なし

※1: 発売: タイ、承認: フィリピン、申請中: 4カ国

※2: 申請中: アセアン3カ国、インド